

第77期

---

中間報告書

---

(平成21年4月1日から  
平成21年9月30日まで)



中日本興業株式会社

平成21年12月

# 株主の皆様へ

代表取締役社長 服部 清純

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は、格別のご支援ご愛顧を賜りまして、厚くお礼申しあげます。

さて当社は、平成21年9月30日をもちまして、第77期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の中間(第2四半期)決算を行いましたので、事業の概況等を次のとおりご報告いたします。

よろしくご高覧賜りますようお願い申しあげます。

## 事業の概況

---

---

当中間期(第2四半期連結累計期間)におけるわが国経済は、昨年秋から続く世界的な金融危機による景気悪化も、景気対策等により一部持ち直しの兆しが見られたものの、企業収益は依然厳しく、雇用情勢の悪化や個人所得の落ち込みが続いております。

このような状況のなか、当社グループでは経営体制の強化を図るため、監査役会を設置するなど、会社機関の整備をいたしました。また、徹底した経費コントロールの実施や積極的な営業活動にも努めてまいりました。

この結果、当中間期(第2四半期連結累計期間)の売上高は19億53百万円(前年同期比6.1%増)、営業損失は14百万円、経常損失は20百万円、四半期純損失は55百万円となりました。

なお、当社の中間配当金につきましては、11月12日開催の取締役会におきまして、1株当たり30円とし、支払開始日を12月2日と決定させていただいております。

以下、事業別の概況をご報告申しあげます。

### 【シネマ事業】

映画興行界は、テレビ局とタイアップした邦画作品が高稼働いたしました。期待しておりました洋画作品が不振であり、全体としては低調に推移いたしました。

このような状況のなか当事業では、7月には名古屋駅前の「ミッドランドスクエア シネマ」にデジタル3D上映

システムを導入し、今後数多く制作される3D作品に対応出来る整備をいたしました。また、昨年オープンいたしました愛知県西春日井郡豊山町の「ミッドランドシネマ名古屋空港」におきましては、併設する複合商業施設「エアポートウォーク名古屋」とのタイアップイベント等を実施し、より一層のお客様の認知度アップを図ってまいりました。

主な上映作品といたしましては、洋画では、4月公開の「レッドクリフPART 」、5月公開の「天使と悪魔」、7月公開の「ハリー・ポッターと謎のプリンス」、邦画では、5月公開の「ROOKIES - 卒業 - 」、6月公開の「劔岳 点の記」、7月公開の「アマルフィノ女神の報酬」、アニメでは7月公開の「ポケットモンスター アルセウス超克の時空へ」などがございました。

当事業では、7月までの興行成績は、昨年を超える成績で推移しておりましたが、8月以降は昨年を大きく下回り、売上高は12億49百万円（前年同期比19.3%増）、営業損失は13百万円となりました。

#### 【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」におきましては、地域に密着したミニコンサートなどのイベントの継続的な実施や、お客様を飽きさせない季節に合ったメニューの提供など、リピーターのみならず、新規の顧客獲得に努めてまいりました。

温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」におきましては、原泉掛け流し天然温泉を導入しており、また、地域に密着したイベント等を実施し、お客様に満足いただけるよう営業努力をしておりますが、同業他社との競争の激化などにより、お客様の来店頻度が減少し収益の低下をもたらしました。

この結果、売上高は4億29百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は11百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

#### 【カルチャー事業】

宣伝企画部門におきましては、長年の映画宣伝で培った経験を活かした広告代理店業務および、サイン・ディスプレイを得意とした看板装飾業務において、良質な商品を提供しお客様に満足いただくよう努めてまいりました。

TSUTAYA部門の名古屋市西区の「TSUTAYAミユキモール庄内通り店」におきましては、TSUTAYAの施策に店舗独自のイベントを企画し、売り上げ向上に努めるとともに、ゲームのソフト・ハードの取扱いを中止するなどの対策を行い、未稼働在庫の削減にも努めてまいりました。

しかしながら、エリア内に同業他社の新規出店もあり、

苦戦を強いられました。

この結果、売上高は2億74百万円（前年同期比14.7%減）、営業損失は11百万円となりました。

## 今後の見通し

今後のわが国経済は、企業収益の減少や個人消費の低迷がしばらく続くと思われ、企業は引き続き事業の見直し、サービスの強化などの対応を迫られるものと思われま

す。当社グループにおきましても、更に厳しい経営環境が続くものと思われま

すが、一層のサービスの向上、経費のコントロール、また、人材の育成などに注力し、安定した収益基盤の構築を目指してまいります。シネマ事業では、12月には「ミッドランドスクエア シネマ」におけるデジタル3D上映システムを追加導入いたします。また、「シネマ歌舞伎」やダイナミックな映像表現で見る演劇「ゲキ×シネ」などのシネマ以外のコンテンツの上映にも注力するなど、設備面およびサービス面の充実を図るとともに、一層の効率的な番組編成を心掛け、最高の映画鑑賞の環境を提供してまいります。

当下半期の予定作品としましては、洋画では現在公開中の「2012」、12月公開の実写版3D映画「アバター」、3月公開の「NINE / ナイン」、邦画では、12月公開の「のだめカンタービレ 最終楽章 / 前編」、1月公開の「おとうと」、アニメでは、3D映画「カールじいさんの空飛ぶ家」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定いたしております。

また、8月に発表いたしましたとおり、名古屋三井ビル北館内「ピカデリー1～4」は、老朽化した建物のため、設備の見直しには十分に対応することが困難な状況と判断し、平成22年3月31日をもって閉館することといたしました。

リラクゼーション事業では、温浴部門におきましては、皆様に好評いただいております事業所独自のイベントやサービスを実施するとともに、地域交流の機会も大切にし、街のつどい場として地域へ貢献するなど、他社との差別化を図り集客力アップに努めてまいります。

カルチャー事業では、既存業務の他に、新しく立ち上げましたホームリメイクの代理店「ホームリメイク東海」を軌道に乗せるため、施工店育成、取次店募集を推進していくとともに、戸建て住宅やマンションをはじめホテルなどへも、低コスト工法の技術を提案し、大型受注を狙うべく、積極的な営業に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 四半期連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
流動資産	986,268	流動負債	582,632
現金及び預金	665,750	支払手形及び買掛金	258,390
受取手形及び売掛金	79,876	1年内返済予定の長期借入金	196,192
たな卸資産	96,926	リース債務	16,304
繰延税金資産	18,164	未払金	5,794
その他	126,046	未払法人税等	945
貸倒引当金	496	未払費用	47,182
固定資産	4,313,668	賞与引当金	14,200
有形固定資産	(3,189,697)	その他	43,623
建物及び構築物	2,687,363	固定負債	1,510,221
機械装置及び運搬具	138,121	長期借入金	1,023,648
工具、器具及び備品	185,059	リース債務	32,608
土地	179,153	役員退職慰労引当金	92,692
無形固定資産	(55,276)	退職給付引当金	55,248
電話加入権	1,147	受入保証金	306,024
ソフトウェア	54,129	負債合計	2,092,853
投資その他の資産	(1,068,694)	<b>純資産の部</b>	
投資有価証券	286,125	株主資本	3,167,389
差入保証金	702,793	資本金	(270,000)
長期前払費用	3,382	資本剰余金	(13)
繰延税金資産	76,394	利益剰余金	(2,906,991)
資産合計	5,299,937	自己株式	(9,616)
		評価・換算差額等	39,694
		その他有価証券評価差額金	(39,694)
		純資産合計	3,207,083
		負債純資産合計	5,299,937

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(平成21年4月1日から  
平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		1,953,267
売 上 原 価		1,010,938
売 上 総 利 益		942,329
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		956,345
営 業 損 失		14,015
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	155	
受 取 配 当 金	2,712	
そ の 他	3,463	6,330
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	11,277	
そ の 他	1,829	13,107
経 常 損 失		20,792
特 別 利 益		
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	133	133
特 別 損 失		
固 定 資 産 臨 時 償 却 費	26,878	
減 損 損 失	47,135	74,013
税金等調整前四半期純損失		94,673
法 人 税 等		39,141
四 半 期 純 損 失		55,532

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(平成21年4月1日から  
平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
営業活動によるキャッシュ・フロー		97,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		9,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		123,930
現金及び現金同等物の増減額(は減少)		36,150
現金及び現金同等物の期首残高		595,900
現金及び現金同等物の四半期末残高		559,750

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 四半期貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
流動資産	771,012	流動負債	555,394
現金及び預金	545,819	買掛金	208,800
売掛金	65,791	1年内返済予定の長期借入金	196,192
商 品	7,048	リース債務	16,304
前払費用	29,775	未払法人税等	945
繰延税金資産	7,192	未払費用	31,645
仮払消費税	49,286	仮受消費税	67,656
その他	66,453	賞与引当金	8,600
貸倒引当金	355	その他	25,250
固定資産	4,920,534	固定負債	1,498,636
有形固定資産	(3,615,245)	長期借入金	1,023,648
建 物	2,511,419	リース債務	32,608
構 築 物	138,125	役員退職慰労引当金	84,829
機械装置及び運搬具	136,872	退職給付引当金	47,326
器具備品	159,658	受入保証金	310,224
土地	669,168	負債合計	2,054,031
無形固定資産	(54,990)	<b>純資産の部</b>	
電話加入権	861	株主資本	3,597,765
ソフトウェア	54,129	資本金	(270,000)
投資その他の資産	(1,250,298)	資本剰余金	(13)
投資有価証券	285,973	資本準備金	13
関係会社株式	45,000	利益剰余金	(3,337,367)
関係会社長期貸付金	215,000	利益準備金	67,500
差入保証金	632,858	その他利益剰余金	3,269,867
長期前払費用	2,732	配当準備積立金	480,000
繰延税金資産	70,884	別途積立金	2,380,000
貸倒引当金	2,150	繰越利益剰余金	409,867
		自己株式	( 9,616)
		評価・換算差額等	39,749
		その他有価証券評価差額金	(39,749)
<b>資 産 合 計</b>	<b>5,691,546</b>	<b>純資産合計</b>	<b>3,637,515</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>5,691,546</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 四半期損益計算書

(平成21年4月1日から  
平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		1,346,749
売 上 原 価		707,957
売 上 総 利 益		638,792
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		659,271
営 業 損 失		20,478
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,860	
雑 収 入	7,591	13,451
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	11,277	
雑 損 失	1,561	12,839
経 常 損 失		19,866
特 別 利 益		
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	176	176
特 別 損 失		
固 定 資 産 臨 時 償 却 費	27,363	27,363
税 引 前 四 半 期 純 損 失		47,053
法 人 税 等		19,084
四 半 期 純 損 失		27,968

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 会 社 の 概 要 (平成21年 9 月30日現在)

設	立	昭和29年 7 月23日
資	本 金	270,000,000円
発	行済株式総数	540,000株
株	主 数	2,831名
従	業 員 数	33名
本	店	名古屋市中村区名駅四丁目 7 番 1 号 (ミッドランド スクエア 15階)
連	結 子 会 社	中日本商事株式会社 太平温泉 天風の湯 松竹温泉 天風の湯 覚王山カフェJi.Coo. TSUTAYAミユキモール庄内通り店 宣伝企画部 (看板装飾・広告代理店)

## 役 員 (平成21年 9 月30日現在)

代表取締役社長	服 部 清 純	
代表取締役専務	服 部 徹	興行部上席担当・ 経営企画部担当
取 締 役	原 田 克 己	興行部担当
取 締 役	三 田 則 男	総務部担当・ 経理部担当
取 締 役	神 尾 隆	(社外取締役)
取 締 役	大 谷 信 義	(社外取締役)
常 勤 監 査 役	佐 藤 桂 一	
監 査 役	岡 本 藤 太	(社外監査役)
監 査 役	新 井 紀 夫	(社外監査役)

# 株 主 メ モ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座 口座管理機関

同 連 絡 先 〒137 - 8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120 - 232 - 711 (通話料無料)

公 告 掲 載 新 聞 中部経済新聞

上 場 取 引 所 名古屋証券取引所 第二部

証 券 コ ー ド 9643

インターネットアドレス <http://www.nnk-cinema.co.jp>

## 【株式に関するお手続きの請求について】

株券電子化に伴い株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされており、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、三菱UFJ信託銀行で承っており、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120 - 244 - 479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 株主様のご優待について

当社の株式1単位（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末日）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で当社直営映画館の無料入場券「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末日現在の株主の皆様は8,9,10月、三ヶ月間の内で1回1名様使用の「株主ご優待券」5枚および11,12,翌年1月、三ヶ月間の内で1回1名様使用の「株主ご優待券」5枚、合わせて10枚を、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末日現在の株主の皆様は翌年2,3,4月、三ヶ月間の内で1回1名様使用の「株主ご優待券」5枚および5,6,7月、三ヶ月間の内で1回1名様使用の「株主ご優待券」5枚、合わせて10枚を、12月の上旬に、中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

### 発行基準

100株以上	5枚（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

### 直営映画館

劇場名	場 所	電話番号
ピカデリー1～4	愛知県名古屋市中村区名駅4-8-14 名古屋三井ビル北館6・7F	052-551-5461
ピカデリー5～6	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F	
ミッドランド スクエア シネマ	愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア商業棟5F	052-527-8808
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋	0568-39-3911

「ピカデリー1～4」は、平成22年3月31日をもって閉館いたします。

以 上



ミッドランドスクエア シネマ

ミッドランドシネマ 名古屋空港



12月19日  
ロードショー

ピカデリー

ミッドランドスクエア シネマ

ミッドランドシネマ 名古屋空港